

平成27年度部長マニフェスト取組結果

部(局)名	市民生活部
部(局)長名	木野内 幸広

【達成度について】
 A：達成（設定した目標を達成することができた。）
 B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）
 C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。）

重点課題 6	適正課税の推進と収入率の向上	全体の達成度
目指すべき方向	公平・公正な課税（賦課・徴収）の推進及び納税環境の整備に努め、収入率の向上を図ります。	<div style="font-size: 48px; font-weight: bold;">A</div> <div style="font-size: 24px; font-weight: bold;">達成</div>

活動目標	具体的な取組実績
納税者の所得、課税物件などの的確な把握のため、実態調査を進めます。	<p>市民税においては、賦課資料の提出が無い市民に所得の申告を求めました（1,070件）。そのうち連絡がとれない市民に対しては臨戸訪問するなどの実態調査（502件）を実施しました。</p> <p>固定資産税においては、所在地が不明確であった家屋の特定調査（200件）及び償却資産の実地調査（800件）を実施しました。</p>
新税務システムの本番稼働に合わせ、クレジットカード収納など市税の収納方法の拡充について検討を進めます。	クレジットカードによる収納方式などを精査し、本市にとって最適なシステムの導入について検討しました。

達成目標	達成状況	達成度
公平・公正な課税のもと、適正な債権管理に努め、収入率の向上を図ります。	実態調査のほか、市民税においては扶養者の調査の実施や固定資産税においては航空写真により家屋の登記されなかった異動判読調査（約850件）を実施して、公平・公正な課税の推進に努めました。	<div style="font-size: 48px; font-weight: bold;">A</div> <div style="font-size: 24px; font-weight: bold;">達成</div>
納税者の利便性の向上を図ります。	平成29年1月に本番稼働する新税務システム（基幹システム再構築）に合わせ、同年4月よりクレジットカードによる収納を開始することとしました。	<div style="font-size: 48px; font-weight: bold;">A</div> <div style="font-size: 24px; font-weight: bold;">達成</div>

総合評価・総括
<p>適正課税の推進にあたり、各税目において様々な調査を実施してきました。今後も同様の調査を実施するとともにその精度を高め、公平・公正な課税の推進に努めます。</p> <p>収納方法の拡充について今後も引き続き研究を重ね、さらなる納税者の利便性を追究します。</p>